

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

商品分類	FANG+2倍ブル	追加型投信/海外/株式/特殊型(ブル・ベア型)
	FANG+2倍ベア	
	FANG+ブルベア・マネーポートフォリオ	追加型投信/国内/債券
信託期間	2020年8月19日～2023年8月18日	
運用方針	FANG+2倍ブル	日々の基準価額の値動きがNYSE FANG+指数(米ドルベース)の値動きの2倍程度となることをめざして運用を行ないます。
	FANG+2倍ベア	日々の基準価額の値動きがNYSE FANG+指数(米ドルベース)の値動きの2倍程度逆となることをめざして運用を行ないます。
	FANG+ブルベア・マネーポートフォリオ	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	FANG+2倍ブル	スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券(円建)、ETF(上場投資信託証券)、ETN(上場投資証券)、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式(上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR(預託証券)を含みます。)、米国の債券、わが国の債券、ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。))の受益証券および米国の株価指数先物取引
	FANG+2倍ベア	スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券(円建)、ETF(上場投資信託証券)、ETN(上場投資証券)、米国の債券、わが国の債券、ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券および米国の株価指数先物取引
	FANG+ブルベア・マネーポートフォリオ	イ. ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券 ロ. 円建ての債券
組入制限	FANG+2倍ブル	マザーファンドおよび株式組入上限比率は無制限
	FANG+2倍ベア	
	FANG+ブルベア・マネーポートフォリオ	・マザーファンド組入上限比率は無制限 ・株式組入上限比率は純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、配当等収益等の額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

◇SUZ0342220230818◇

FANG+ブルベアファンド

FANG+ 2倍ブル
FANG+ 2倍ベア
FANG+ブルベア・マネーポートフォリオ

運用報告書(全体版) 満期償還

(償還日 2023年8月18日)

(作成対象期間 2022年8月19日～2023年8月18日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「FANG+ブルベアファンド」は、このたび、満期償還となりました。

ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3423>

<3424>

<3422>

FANG+2倍ブル

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		公社債入率	純資産額
	(分配落)	税金 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
1期末 (2021年8月18日)	16,610	0	66.1	13,515	35.2	94.2	506
2期末 (2022年8月18日)	8,958	0	△ 46.1	11,146	△ 17.5	99.8	286
償還 (2023年8月18日)	13,255.42	—	48.0	14,401	29.2	—	333

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

※参考指数を「NYSE FANG+指数 (米ドルベース)」から「NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、米ドルベース)」に変更しました。

Source ICE Data Indices, LLC is used with permission. The index data and marks referenced herein are the property of ICE Data Indices, LLC, its affiliates ("ICE Data") and/or its third party suppliers ("ICE Data and its Suppliers") and have been licensed for use by Daiwa Asset Management Co. Ltd. ICE Data and its Suppliers accept no liability in connection with the use of such index data or marks. See [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] for a full copy of the Disclaimer.

出所：ICE Data Indices, LLC (以下「ICEデータ」)

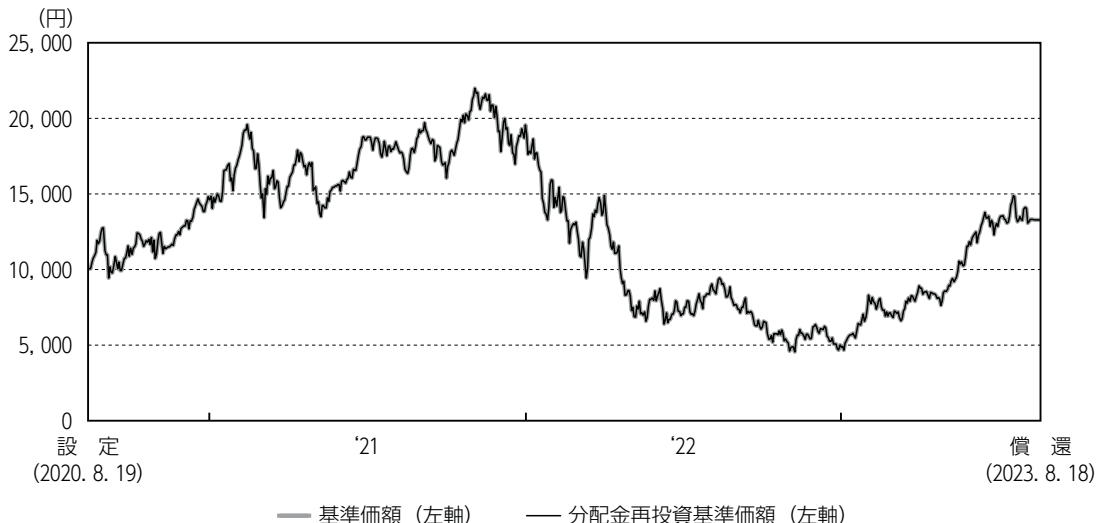
本書で言及されているインデックスデータおよびマークは、ICEデータ、その関連会社またはその第三者供給元の所有物であり、大和アセットマネジメント株式会社に対して使用許諾されています。ICEデータおよびその供給元は、当該インデックスデータまたはマークの使用に関して、いかなる責任も負いません。免責事項の全文は [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] をご覧ください。

In the event of any inconsistency between the English version and the Japanese version of this disclaimer, the English version shall prevail.



運用経過

基準価額等の推移について



*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：13,255円42銭（既払分配金0円）

騰落率：32.6%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

日々の基準価額の値動きがNYSE FANG+指数（米ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざした運用を行った結果、NYSE FANG+指数で組み入れているハイテク銘柄が上昇したことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

FANG+ブルベアファンド FANG+2倍ブル

年 月 日	基 準 価 額		NYSE FANG + 指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		公 社 債 組 入 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
(期首) 2022年8月18日	円 8,958	% —	11,146	% —	% 99.8
8月末	7,564	△ 15.6	10,286	△ 7.7	100.1
9月末	6,144	△ 31.4	9,318	△ 16.4	97.2
10月末	5,356	△ 40.2	8,777	△ 21.3	104.3
11月末	5,367	△ 40.1	8,946	△ 19.7	99.8
12月末	4,942	△ 44.8	8,712	△ 21.8	99.9
2023年1月末	6,515	△ 27.3	10,158	△ 8.9	96.2
2月末	7,062	△ 21.2	10,750	△ 3.6	99.8
3月末	8,394	△ 6.3	11,835	6.2	93.0
4月末	8,444	△ 5.7	11,960	7.3	100.3
5月末	11,795	31.7	14,215	27.5	97.9
6月末	12,810	43.0	14,932	34.0	100.0
7月末	13,965	55.9	15,729	41.1	99.2
(償還) 2023年8月18日	13,255.42	48.0	14,401	29.2	—

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

(2020. 8. 19 ~ 2023. 8. 18)

■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当ファンド設定時より、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待感などから上昇して始まりました。その後は、大幅に上昇した銘柄に利益確定の動きが強まったとみられるほか、米国大統領選挙を控えてリスクを回避する動きも強まり、上値の重い展開となりました。2020年11月以降は、米国大統領選挙で民主党のバイデン氏が当選確実となって選挙結果に対する不確実性が後退したことや、それによって大型経済対策への期待が高まったこと、複数のワクチンの接種が始まったことなどが好感され、株価は上昇しました。2021年に入っても、1月には米国ジョージア州における上院決選投票で民主党候補が勝利し、大型経済対策などの政策の実現化が現実味を帯びたこと、さらに、3月には実際に米国で追加経済対策が発表されたこと、ワクチンの接種が進んで新規感染者数が減少したことなどが好感され、株価は引き続き上昇しました。9月以降は、米国の量的金融緩和の早期縮小観測や連邦政府の債務上限問題、増税への不透明感などから軟調に推移しましたが、10月に入ると、債務上限問題の一時棚上げや良好な企業決算の発表を受け、再び上昇しました。その後も、CPI（消費者物価指数）の上昇加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから一時的に下落する局面はあったものの、良好な経済指標の発表が相次いだことなどから、年末にかけて高値圏で推移しました。2022年に入ると、FRB（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締め懸念で金利が上昇したことや、ロシアによるウクライナ侵攻で地政学リスクが顕在化したことなどが懸念され、3月半ばにかけて下落しましたが、FRBの利上げ決定後は一時的に反発しました。4月以降は、インフレ率の高止まりで金利が上昇して景気の先行きに対する懸念が高まったことや、FRBの利上げペースの加速に対する懸念などから、6月半ばにかけて下落しました。その後は、資源価格の上昇が一服してインフレ懸念が後退したことや、FRBの利上げ幅縮小への期待などから、株価は反発しました。9月に入ると、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、さらに企業業績見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、11月上旬にかけて下落しました。11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しましたが、年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化懸念などから下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の鈍化でFRBの利上げペースが減速するとの期待などから上昇しました。2月から3月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を

受けて下落しましたが、その後は、FRBによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬以降は、AI（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の伸びの鈍化などが好感されて大幅に上昇し、償還を迎えました。

信託期間中の運用方針

当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、主にスター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（円建）（以下「パフォーマンス連動債券」といいます。）を高位に組み入れることにより、日々の基準価額の値動きがNYSE FANG+指数（米ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

信託期間中のポートフォリオについて

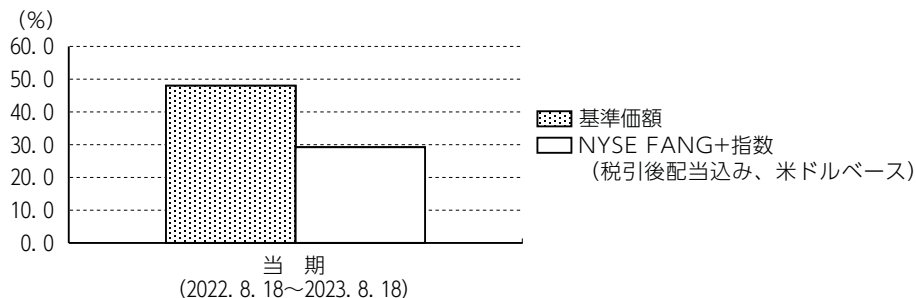
(2020.8.19～2023.8.18)

当ファンド

パフォーマンス連動債券への投資割合を高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

信託期間中の収益分配につきましては、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、見送らせていただきました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 8. 19~2023. 8. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	98円	1.166%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,385円です。
(投 信 会 社)	(40)	(0.478)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(55)	(0.660)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	6	0.070	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(5)	(0.064)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	104	1.235	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

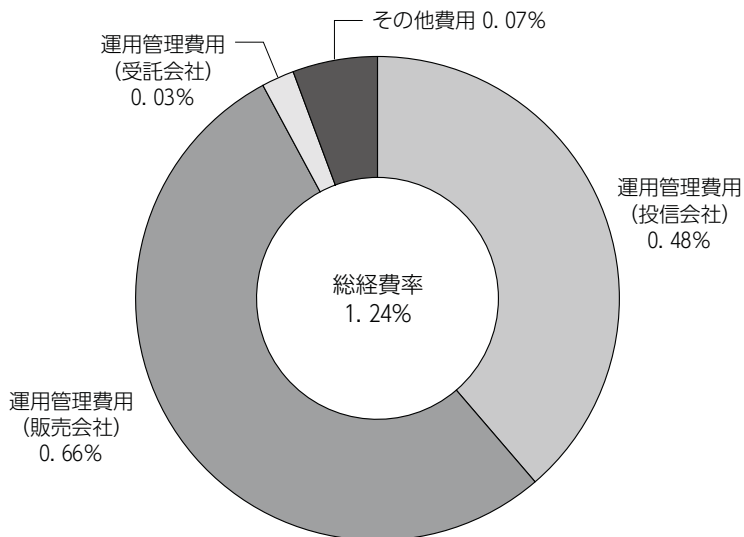
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.24%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかります。
純資産総額に対して年率0.29% (税込) 以下、その他各種費用等

■売買および取引の状況

公 社 債

(2022年8月19日から2023年8月18日まで)

		買付額	売付額
国内	社債券	千円 330,851	千円 773,483 ()

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2022年8月19日から2023年8月18日まで)

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
Star Helios Plc 2026/8/18 (ユーロ円債)	千円 330,851	Star Helios Plc 2026/8/18 (ユーロ円債)	千円 773,483

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社(自社)による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首保有額	当作成期中設定額	当作成期中解約額	償還時保有額	取引の理由
百万円 100	百万円 —	百万円 —	百万円 100	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年8月18日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 349,807	% 100.0
投資信託財産総額	349,807	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年8月18日現在

項目	償還時
(A)資産	349,807,186円
コール・ローン等	349,807,186
(B)負債	15,973,475
未払解約金	14,041,791
未払信託報酬	1,929,872
未払利息	1,812
(C)純資産総額 (A - B)	333,833,711
元本	251,846,973
償還差損益金	81,986,738
(D)受益権総口数	251,846,973口
1万口当り償還価額 (C/D)	13,255円42銭

* 期首における元本額は319,764,822円、当作成期間中における追加設定元本額は788,894,819円、同解約元本額は856,812,668円です。

* 償還時の計算口数当りの純資産額は13,255円42銭です。

■損益の状況

当期 自2022年8月19日 至2023年8月18日

項目	当期
(A) 配当等収益	220,006円
受取利息	4
その他収益金	231,414
支払利息	△ 11,412
(B) 有価証券売買損益	82,010,129
売買益	235,720,729
売買損	△ 153,710,600
(C) 信託報酬等	△ 3,352,944
(D) 当期損益金 (A + B + C)	78,877,191
(E) 前期繰越損益金	△ 4,779,015
(F) 追加信託差損益金	7,888,562
(配当等相当額)	(28,095,157)
(売買損益相当額)	(△ 20,206,595)
(G) 合計 (D + E + F)	81,986,738
償還差損益金 (G)	81,986,738

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2020年8月19日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年8月18日			資産総額	349,807,186円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	15,973,475円	
				純資産総額	333,833,711円	
受益権口数	100,000,000口	251,846,973口	151,846,973口	受益権口数	251,846,973口	
元本額	100,000,000円	251,846,973円	151,846,973円	1単位当り償還金	13,255円42銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金		
				金額	分配率	
第1期	円 305,066,447	円 506,715,611	円 16,610	円 0	% 0.00	
第2期	319,764,822	286,455,754	8,958	0	0.00	

(注) 1単位は受益権1万口。

償還金のお知らせ

1万口当り償還金

13,255円42銭

FANG+2倍ベア

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		公社債 組入率	純資産 総額
	(分配落)	税金 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
1期末 (2021年8月18日)	4,439	0	△ 55.6	13,515	35.2	98.2	86
2期末 (2022年8月18日)	4,033	0	△ 9.1	11,146	△ 17.5	96.6	260
償還 (2023年8月18日)	1,663.27	—	△ 58.8	14,401	29.2	—	98

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

※参考指数を「NYSE FANG+指数 (米ドルベース)」から「NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、米ドルベース)」に変更しました。

Source ICE Data Indices, LLC is used with permission. The index data and marks referenced herein are the property of ICE Data Indices, LLC, its affiliates ("ICE Data") and/or its third party suppliers ("ICE Data and its Suppliers") and have been licensed for use by Daiwa Asset Management Co. Ltd. ICE Data and its Suppliers accept no liability in connection with the use of such index data or marks. See [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] for a full copy of the Disclaimer.

出所：ICE Data Indices, LLC (以下「ICEデータ」)

本書で言及されているインデックスデータおよびマークは、ICEデータ、その関連会社またはその第三者供給元の所有物であり、大和アセットマネジメント株式会社に対して使用許諾されています。ICEデータおよびその供給元は、当該インデックスデータまたはマークの使用に関して、いかなる責任も負いません。免責事項の全文は [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] をご覧ください。

In the event of any inconsistency between the English version and the Japanese version of this disclaimer, the English version shall prevail.



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：1,663円27銭（既払分配金0円）

騰落率：△83.4%（分配金再投資ベース）

基準価額の変動要因

日々の基準価額の値動きがNYSE FANG+指数（米ドルベース）の値動きの2倍程度逆となることをめざした運用を行った結果、NYSE FANG+指数で組み入れているハイテク銘柄が上昇したことから、当ファンドの基準価額は下落しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

FANG+ブルベアファンド FANG+2倍ベア

年 月 日	基 準 価 額		NYSE FANG + 指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		公 社 債 組 入 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
(期首) 2022年8月18日	4,033	—	11,146	—	96.6
8月末	4,706	16.7	10,286	△ 7.7	107.6
9月末	5,637	39.8	9,318	△ 16.4	88.7
10月末	6,219	54.2	8,777	△ 21.3	74.9
11月末	5,778	43.3	8,946	△ 19.7	100.0
12月末	5,860	45.3	8,712	△ 21.8	100.1
2023年1月末	4,221	4.7	10,158	△ 8.9	100.3
2月末	3,587	△ 11.1	10,750	△ 3.6	103.1
3月末	2,942	△ 27.1	11,835	6.2	103.6
4月末	2,865	△ 29.0	11,960	7.3	98.5
5月末	1,969	△ 51.2	14,215	27.5	101.4
6月末	1,778	△ 55.9	14,932	34.0	97.1
7月末	1,591	△ 60.6	15,729	41.1	99.4
(償還) 2023年8月18日	1,663.27	△ 58.8	14,401	29.2	—

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

(2020. 8. 19 ~ 2023. 8. 18)

■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当ファンド設定時より、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待感などから上昇して始まりました。その後は、大幅に上昇した銘柄に利益確定の動きが強まったとみられるほか、米国大統領選挙を控えてリスクを回避する動きも強まり、上値の重い展開となりました。2020年11月以降は、米国大統領選挙で民主党のバイデン氏が当選確実となって選挙結果に対する不確実性が後退したことや、それによって大型経済対策への期待が高まったこと、複数のワクチンの接種が始まったことなどが好感され、株価は上昇しました。2021年に入っても、1月には米国ジョージア州における上院決選投票で民主党候補が勝利し、大型経済対策などの政策の実現化が現実味を帯びたこと、さらに、3月には実際に米国で追加経済対策が発表されたこと、ワクチンの接種が進んで新規感染者数が減少したことなどが好感され、株価は引き続き上昇しました。9月以降は、米国の量的金融緩和の早期縮小観測や連邦政府の債務上限問題、増税への不透明感などから軟調に推移しましたが、10月に入ると、債務上限問題の一時棚上げや良好な企業決算の発表を受け、再び上昇しました。その後も、CPI（消費者物価指数）の上昇加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから一時的に下落する局面はあったものの、良好な経済指標の発表が相次いだことなどから、年末にかけて高値圏で推移しました。2022年に入ると、FRB（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締め懸念で金利が上昇したことや、ロシアによるウクライナ侵攻で地政学リスクが顕在化したことなどが懸念され、3月半ばにかけて下落しましたが、FRBの利上げ決定後は一時的に反発しました。4月以降は、インフレ率の高止まりで金利が上昇して景気の先行きに対する懸念が高まったことや、FRBの利上げペースの加速に対する懸念などから、6月半ばにかけて下落しました。その後は、資源価格の上昇が一服してインフレ懸念が後退したことや、FRBの利上げ幅縮小への期待などから、株価は反発しました。9月に入ると、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、さらに企業業績見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、11月上旬にかけて下落しました。11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しましたが、年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化懸念などから下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の鈍化でFRBの利上げペースが減速するとの期待などから上昇しました。2月から3月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を

受けて下落しましたが、その後は、FRBによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬以降は、AI（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の伸びの鈍化などが好感されて大幅に上昇し、償還を迎えました。

信託期間中の運用方針

当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、主にスター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（円建）（以下「パフォーマンス連動債券」といいます。）を高位に組み入れることにより、日々の基準価額の値動きがNYSE FANG+指数（米ドルベース）の値動きの2倍程度逆となることをめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

信託期間中のポートフォリオについて

(2020.8.19～2023.8.18)

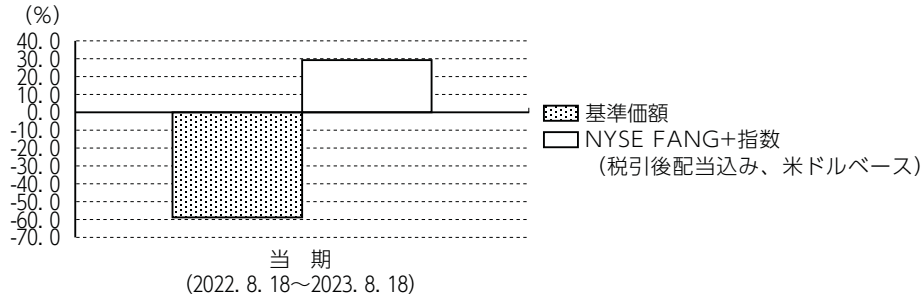
当ファンド

パフォーマンス連動債券への投資割合を高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

信託期間中の収益分配につきましては、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、見送らせていただきました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 8. 19~2023. 8. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	44円	1.166%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,796円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0.478)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(25)	(0.660)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	4	0.097	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.090)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.003)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	48	1.263	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

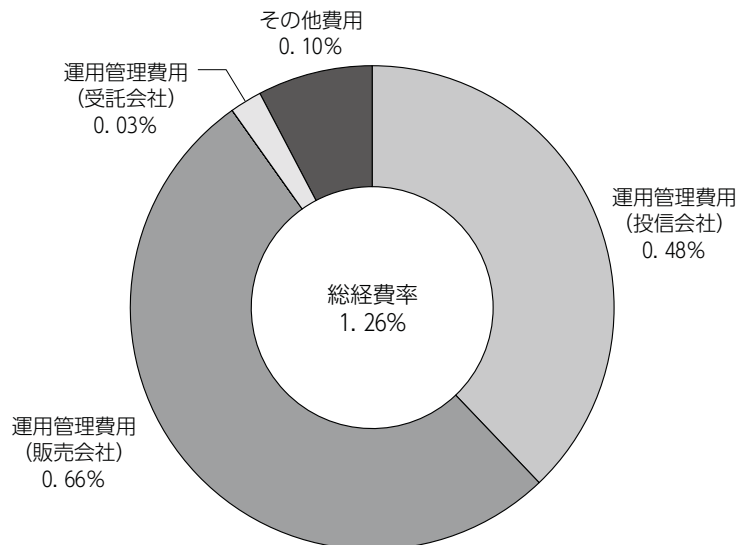
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかります。
純資産総額に対して年率0.29%（税込）以下、その他各種費用等

■売買および取引の状況

公 社 債

(2022年8月19日から2023年8月18日まで)

		買付額	売付額
国内	社債券	千円 728,212	千円 872,395 ()

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2022年8月19日から2023年8月18日まで)

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
Star Helios Plc 2026/8/18 (ユーロ円債)	千円 728,212	Star Helios Plc 2026/8/18 (ユーロ円債)	千円 872,395

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社(自社)による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首保有額	当作成期中設定額	当作成期中解約額	償還時保有額	取引の理由
百万円 100	百万円 —	百万円 —	百万円 100	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年8月18日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 100,399	% 100.0
投資信託財産総額	100,399	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年 8月18日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	100,399,409円
コール・ローン等	100,399,409
(B) 負債	1,628,255
未払解約金	662,398
未払信託報酬	965,338
未払利息	519
(C) 純資産総額 (A - B)	98,771,154
元本	593,837,562
償還差損益金	△ 495,066,408
(D) 受益権総口数	593,837,562口
1万口当り償還価額 (C/D)	1,663円27銭

* 期首における元本額は645,038,472円、当作成期間中における追加設定元本額は3,016,908,664円、同解約元本額は3,068,109,574円です。

* 償還時の計算口数当りの純資産額は1,663円27銭です。

* 償還時の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は495,066,408円です。

■損益の状況

当期 自2022年8月19日 至2023年8月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,746円
受取利息	2
その他収益金	7,826
支払利息	△ 9,574
(B) 有価証券売買損益	△ 67,172,869
売買益	121,696,763
売買損	△ 188,869,632
(C) 信託報酬等	△ 2,589,962
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 69,764,577
(E) 前期繰越損益金	△ 201,796
(F) 追加信託差損益金	△ 425,100,035
(配当等相当額)	(298,171)
(売買損益相当額)	(△ 425,398,206)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 495,066,408
償還差損益金 (G)	△ 495,066,408

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2020年8月19日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年8月18日		資産総額	100,399,409円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	1,628,255円
				純資産総額	98,771,154円
受益権口数	200,000,000口	593,837,562口	393,837,562口	受益権口数	593,837,562口
元 本 額	200,000,000円	593,837,562円	393,837,562円	1単位当り償還金	1,663円27銭
毎 計 算 期 末 の 状 況					
計算期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 単 位 当 り 分 配 金	
				金 額	分 配 率
第 1 期	円 194,379,379	円 86,280,437	円 4,439	円 0	% 0.00
第 2 期	645,038,472	260,159,864	4,033	0	0.00

(注) 1単位は受益権1万口。

償 還 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 償 還 金	1,663円27銭
-----------------	-----------

FANG+ブルベア・マネーポートフォリオ

設定以来の運用実績

決算期	基準価額					公社債組入率	純資産総額
	(分配落)	税 分 配	込 金	期 騰 落	中 率		
	円		円		%	%	百万円
1 期末 (2021年 8 月18日)	9,992		0	△	0.1	—	0
2 期末 (2022年 8 月18日)	9,986		0	△	0.1	—	0
償 還 (2023年 8 月18日)	9,979.90		—	△	0.1	—	0

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

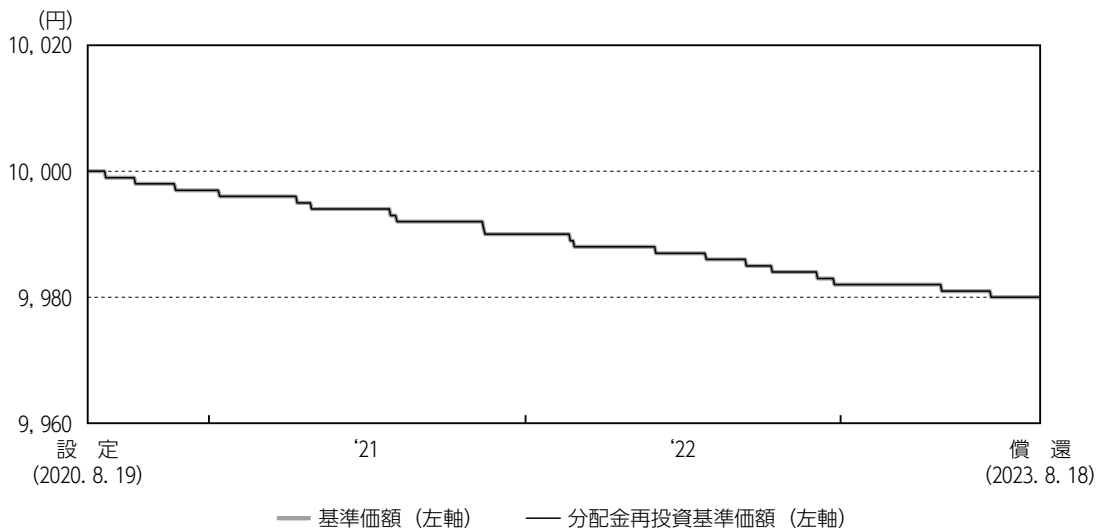
(注3) 公社債組入率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは「FANG+ブルベアファンド」を構成するファンドのスイッチング資金を一時滞留させる受け皿としての役割をもったファンドであり、わが国の債券を中心に安定運用を行います。そのため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：9,979円90銭（既払分配金0円）

騰落率：△0.2%（分配金再投資ベース）

基準価額の変動要因

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券を通じて投資したコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

FANG+ブルベアファンド FANG+ブルベア・マネーポートフォリオ

年 月 日	基 準 価 額			公 組 比	社 債 入 率
		騰	落 率		
	円		%		%
(期首) 2022年 8月18日	9,986		—		—
8月末	9,986		0.0		—
9月末	9,985	△	0.0		—
10月末	9,984	△	0.0		—
11月末	9,984	△	0.0		—
12月末	9,982	△	0.0		—
2023年 1月末	9,982	△	0.0		—
2月末	9,982	△	0.0		—
3月末	9,982	△	0.0		—
4月末	9,981	△	0.1		—
5月末	9,981	△	0.1		—
6月末	9,980	△	0.1		—
7月末	9,980	△	0.1		—
(償還) 2023年 8月18日	9,979.90	△	0.1		—

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

(2020. 8. 19 ~ 2023. 8. 18)

国内短期金融市況

信託期間を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

信託期間中の運用方針

当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行います。

信託期間中のポートフォリオについて

(2020. 8. 19 ~ 2023. 8. 18)

当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

信託期間中の収益分配につきましては、分配対象額が計上できなかったため、見送らせていただきました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 8. 19~2023. 8. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	—	—	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,982円です。
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.018	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(2)	(0.018)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	2	0.018	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

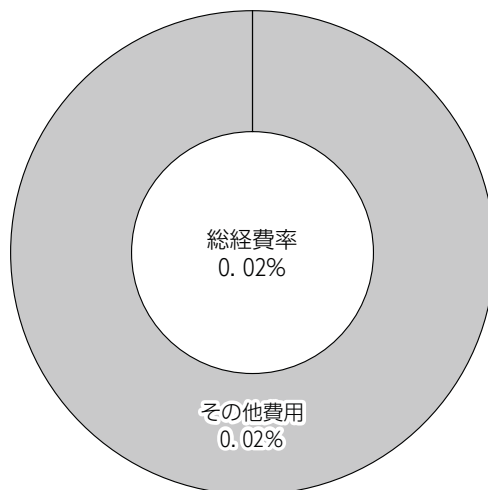
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.02%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2022年8月19日から2023年8月18日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
ダイワ・マネーポート フォリオ・マザーファンド	千□	千円	千□	千円
	—	—	992	993

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保有額	当作成期中 設定額	当作成期中 解約額	償 還 時 保 有 額	取 引 の 理 由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種 類	期 首
	□ 数
ダイワ・マネーポートフォリオ・ マザーファンド	千□ 992

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年8月18日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 997	% 100.0
投資信託財産総額	997	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年8月18日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	997,993円
コール・ローン等	997,993
(B) 負債	3
未払利息	3
(C) 純資産総額 (A - B)	997,990
元本	1,000,000
償還差損益金	△ 2,010
(D) 受益権総口数	1,000,000口
1万口当り償還価額 (C / D)	9,979円90銭

* 期首における元本額は1,000,000円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

* 償還時の計算口数当りの純資産額は9,979円90銭です。

* 償還時の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,010円です。

■損益の状況

当期 自2022年8月19日 至2023年8月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 5
支払利息	△ 5
(B) 有価証券売買損益	△ 397
売買損	△ 397
(C) 信託報酬等	△ 184
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 586
(E) 前期繰越損益金	△ 1,424
(F) 合計 (D + E)	△ 2,010
償還差損益金 (F)	△ 2,010

(注) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2020年8月19日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年8月18日		資産総額	997,993円
区分	投資信託 契約締結当初	投資信託 契約終了時	差引増減又は 追加信託	負債総額	3円
				純資産総額	997,990円
受益権口数	1,000,000口	1,000,000口	0口	受益権口数	1,000,000口
元本額	1,000,000円	1,000,000円	0円	1単位当り償還金	9,979円90銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	1,000,000	999,239	9,992	0	0.00
第2期	1,000,000	998,576	9,986	0	0.00

(注) 1単位は受益権1万口。

償還金のお知らせ

1万口当り償還金

9,979円90銭

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2022年12月9日)

(作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

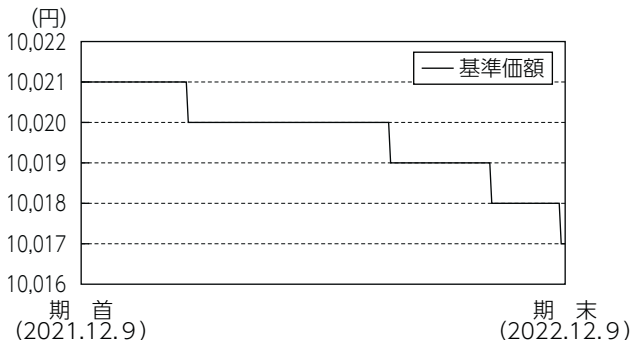
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2021年12月9日	円	%	%
	10,021	-	-
12月末	10,021	0.0	-
2022年1月末	10,021	0.0	-
2月末	10,021	0.0	-
3月末	10,020	△0.0	-
4月末	10,020	△0.0	-
5月末	10,020	△0.0	-
6月末	10,020	△0.0	-
7月末	10,020	△0.0	-
8月末	10,019	△0.0	-
9月末	10,019	△0.0	-
10月末	10,018	△0.0	-
11月末	10,018	△0.0	-
(期末)2022年12月9日	10,017	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,021円 期末：10,017円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	44,934,654	100.0
投資信託財産総額	44,934,654	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	44,934,654,863円
コール・ローン等	44,934,654,863
(B) 負債	1,205,058
未払解約金	1,205,058
(C) 純資産総額(A - B)	44,933,449,805
元本	44,855,160,815
次期繰越損益金	78,288,990
(D) 受益権総口数	44,855,160,815口
1万口当り基準価額(C/D)	10,017円

* 期首における元本額は94,938,109,576円、当作成期間中における追加設定元本額は94,531,696,979円、同解約元本額は144,614,645,740円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ米ドル・プルファンド (適格機関投資家専用)	3,974,859,681円
ダイワ米ドル・ベアファンド (適格機関投資家専用)	9,984,542,130円
ダイワ・マネーポートフォリオ (F O F s用) (適格機関投資家専用)	1,089,639円
ダイワJリートベア・ファンド (適格機関投資家専用)	2,083,616,103円
米国債プラス日本株式ファンド2021-01 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	1,518,511円
米国債プラス日本株式ファンド2021-07 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	9,980,330円
ダイワ/パリュウ・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス	9,976円
通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
オール・マーケット・インカム戦略 (資産成長重視コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定額分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定率分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (予想分配金提示型コース)	9,963円
NYダウ・トリプル・レバレッジ	1,486,750,161円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年1回決算型)	998円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年2回決算型)	998円
FANG+プルベア・マネーポートフォリオ	992,420円
ポーレン米国グロース株式ファンド (資産成長型)	998円
ポーレン米国グロース株式ファンド (予想分配金提示型)	998円
トレンド・キャッチ戦略ファンド	9,977円
AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド (適格機関投資家専用)	8,364,886,518円
ダイワJGBベア・ファンド2 (適格機関投資家専用)	18,942,942,107円
ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド	2,417,017円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) アジア通貨・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券α (毎月分配型)	9,949円
ダイワ米ドル建て7-10年ラダーファンド・マネーポートフォリオ - USトラインブル	997,374円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド - 予想分配金提示型	173,802円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,017円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 16,492,067円
支払利息	△ 16,492,067
(B) 当期損益金(A)	△ 16,492,067
(C) 前期繰越損益金	201,304,649
(D) 解約差損益金	△293,300,613
(E) 追加信託差損益金	186,777,021
(F) 合計(B + C + D + E)	78,288,990
次期繰越損益金(F)	78,288,990

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。